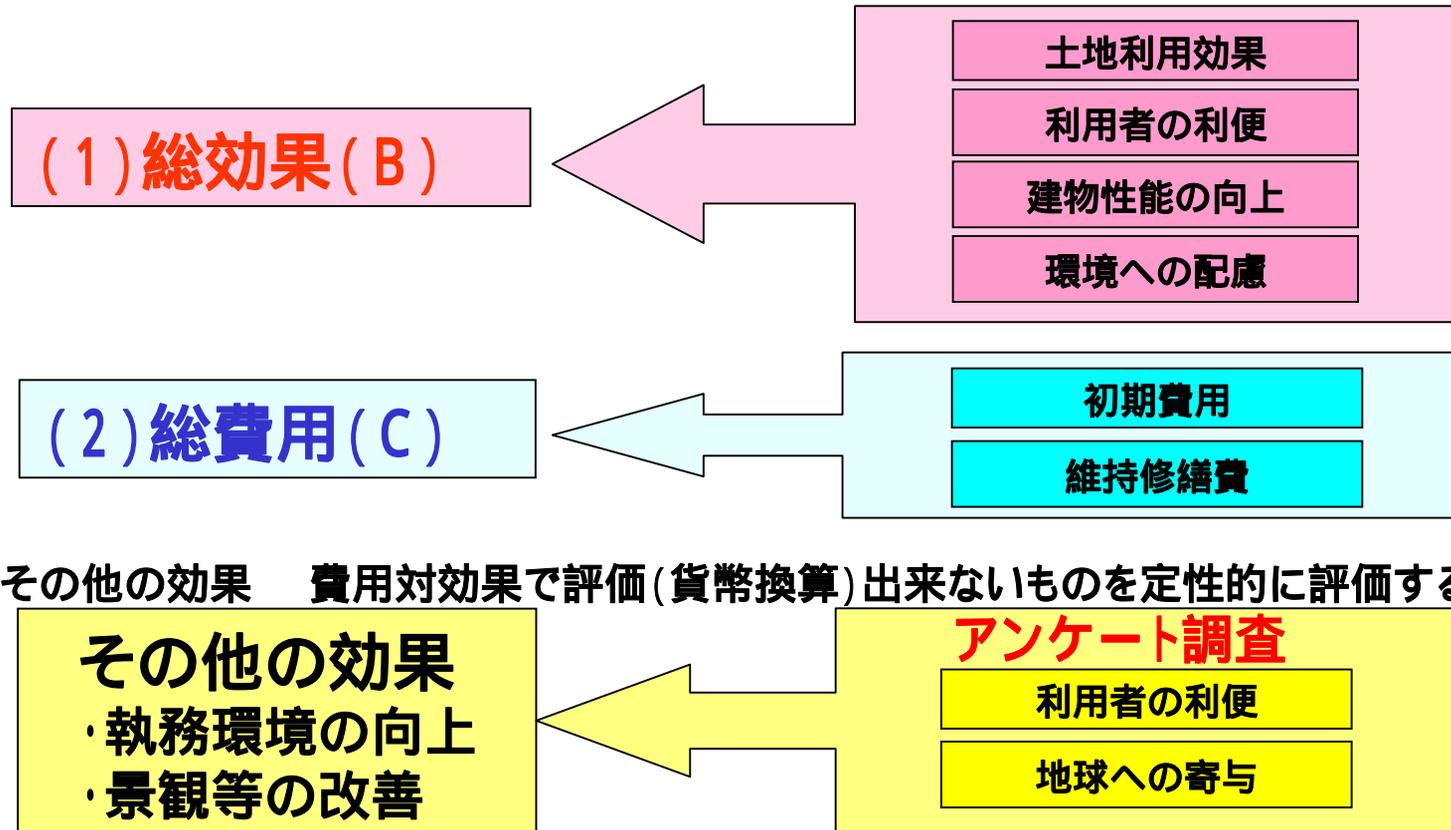


営繕事業(事後評価)について

- 対象事業 **国土交通省所管予算の新営繕事業**
(官庁営繕費及び特定国有財産整備特別会計)
- 評価時期 施設を管理官署に引き渡して原則**3年**
- 評価主体 各事業実施部局

費用対効果

50年間の $\frac{\text{総効果(B)} \cdots (1)}{\text{総費用(C)} \cdots (2)}$ を現在価値化



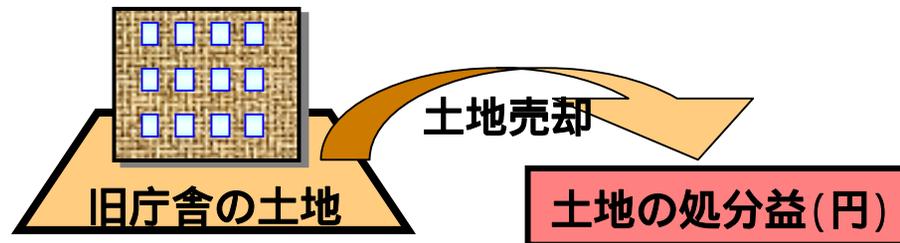
総効果(B)・総費用(C)は、標準的なものを表しており、事業の内容に応じて選択・追加する

事業の**効果**に関する評価指標 1

土地利用効果

土地処分益

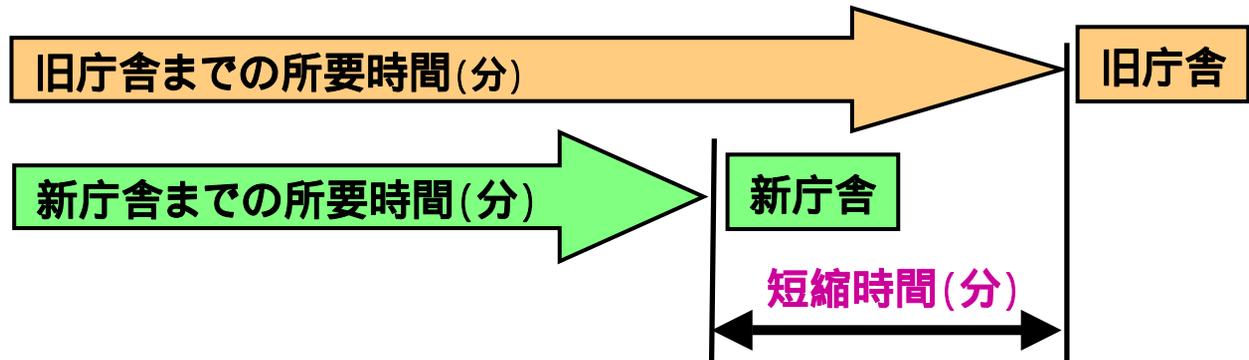
旧庁舎の土地を売却する場合(売却したとみなした場合)の利益を評価



利用者の利便

立地の改善

職員及び来庁者が、来庁に要する時間変化を効果として評価



$$[\text{短縮時間(分)}] \times [\text{来庁者数(人)}] \times [\text{時間短縮費用}36.7(\text{円/分})] = \text{時間効果(円)}$$

事業の**効果**に関する評価指標2

建物性能の向上

狭隘の解消

旧庁舎を活用(増築)して、必要な面積を確保する場合の費用を評価
増築部分の維持修繕(修繕・保全・水道光熱費)の費用を評価



$$([\text{増築部分面積}(\text{m}^2)] \times [\text{新庁舎の}\text{m}^2\text{単価}]) + ([\text{増築部分の維持修繕費}])$$

事故・災害の縮小

旧庁舎を耐震安全性、防災安全性を備えたものと仮定する費用を評価

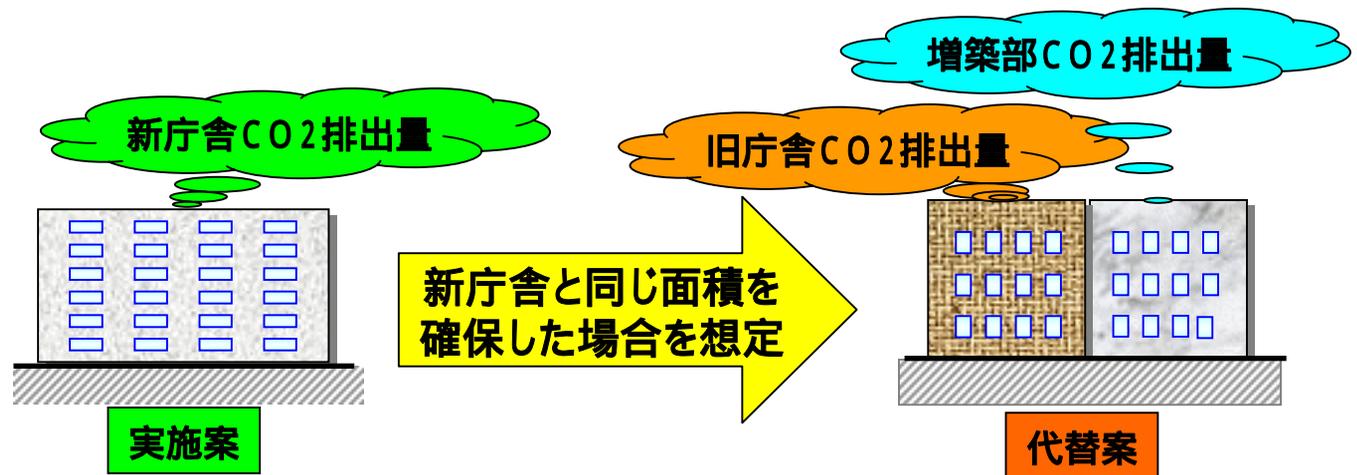
$$[\text{旧庁舎面積}(\text{m}^2)] \times ([\text{耐震改修費用}(56.6\text{千円}/\text{m}^2)] \\ + [\text{防災改修費用}(18.4\text{千円}/\text{m}^2)])$$

事業の**効果**に関する評価指標3

環境への配慮

地球環境保全への寄与

新庁舎と旧庁舎(旧庁舎 + 増築部分)の運用段階におけるエネルギー消費に伴うCO₂排出量を求め、その削減効果を評価



$$([旧庁舎CO_2排出量] + [増築部CO_2排出量] - [新庁舎CO_2排出量]) \times [CO_2原単位2.22(円/kg-CO_2)]$$

事業の費用に関する評価指標 1

初期費用

建設費

新庁舎の建設工事に要する費用

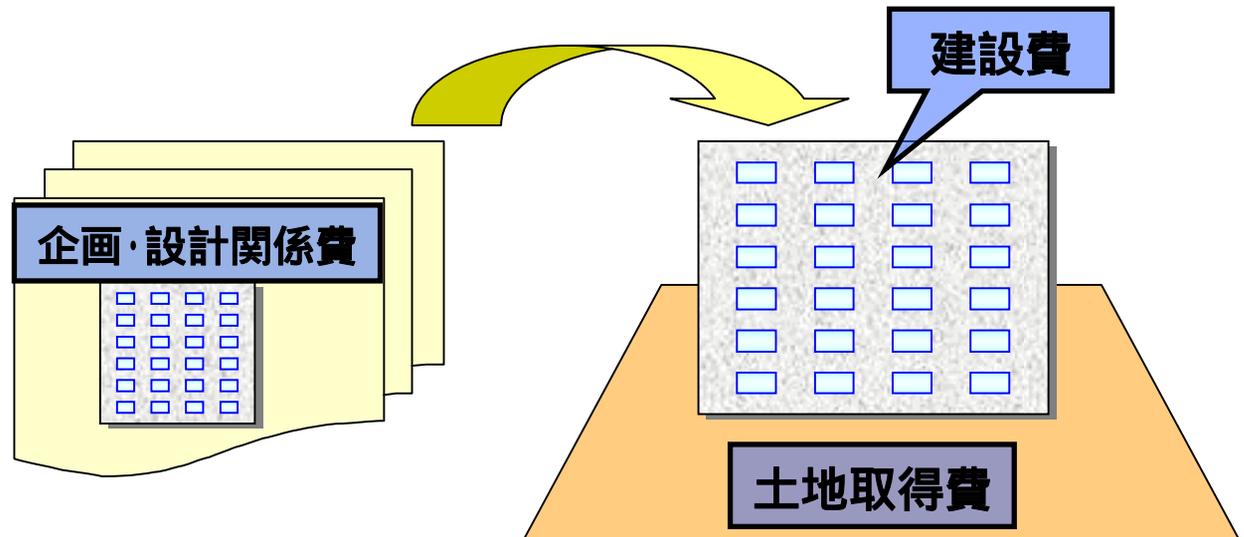
企画・設計関係費

企画・設計段階に要する費用

土地取得費

新規に土地を調達する際に要する費用

(国有地を利用する場合は土地を調達したと仮定した費用「みなし取得費」)



事業の費用に関する評価指標2

維持修繕費

修繕費

大規模修繕、各所修繕に要する費用 < 各所修繕費単価 >

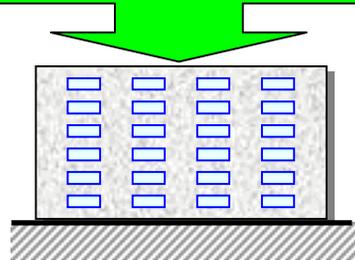
保全費

経常的に発生する建物維持に要する費用 < 実績値 >

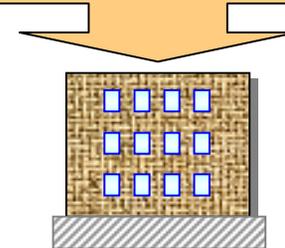
水道光熱費

水道・電気・ガス・油等に要する費用 < 実績値 >

新庁舎の維持修繕費
(修繕・保全・水道光熱費)



旧庁舎の維持修繕費
< 修繕・保全・水道光熱費 >



[新庁舎の維持修繕費] - [旧庁舎維持修繕費] = 維持修繕費